

ぱるつうしん

発行元: 社福) 藤沢育成会 藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話: 0466-28-0909 FAX: 0466-28-0959
ホームページ: <http://www.f-ikusei.or.jp/pal/palnet/>

平成25年11月号



TOPICS!

10月12日(土) 快晴!

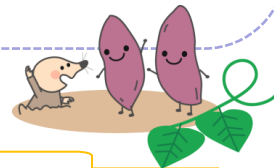
ぜんぎょうちく しやきょう しょうたい
善行地区社協の招待で

いもほり さんか
『さつま芋掘り』に参加しました。

ばしょ しょうなん まえ
場所は、湘南セシリアの前の
さかみち のぼ はたけ
坂道を上ったところにある畑で
じっし どうじつ さまざま
実施されました。当日は様々な
ふくし りよう
福祉サービスを利用している
かたがた さんか
方々が参加されていました。

ほ おわ
掘り終ってからはボランティア
さんが事前にふかして用意した
いも さんかしや
さつま芋を参加者、ボランティア
みな
さん皆でおいしくいただきました。

ぶ しょ おおさわ
(グループホーム部署 大澤)



もくじ

☆ 特 集 ☆

「待つ支援」

ま しえん き
“待つ支援”と聞いて、みなさんどんなことを感じま
すか？そしてお子さん、利用者さんを“待つこと”は
できますか？

こんかい しょうかい
今回は、はぐサロンでのエピソードを紹介しながら
“待つ”ことの意味やポイントを考えていきます。

- P 1 もくじ・TOPICS!
- P 2 子ども支援部署
- P 3 ヘルパー部署
- P4~5 特集「待つ支援」
- P 6 グループホーム部署
/ 寄付ありがとうございました!
- P 7 職員投稿
/ おでかけmini情報
- P 8 所長の小部屋

子ども支援部署

こんにちは。今回は、地域支援・相談部門の山下より、「ケア会議」についてお伝えさせていただきたいと思えます。

以前、ぱる通信の中で「計画相談」のことを「その人を応援するためのチームを作り、適切な応援の方法をご本人やご家族と一緒に考える役割」とお伝えしたことがありましたが、ケア会議はその具体的手段の一つです。ご本人やご家族の望む生活の実現のため、チームのメンバーが集まって、みんなで様々なテーマについて一緒に考えます。そのことにより、おもしろいアイデアが出たり、モチベーションがあがったり、ご本人の良いところをたくさん見つけられたり、いいことがたくさんあります！

今回は、実際にご利用いただいているご家族にご協力いただき、具体的内容についてご紹介させていただきます。

H様

入所施設から地域(自宅)に戻るにあたり、計画相談という形でお手伝いをさせていただくことになりました。ケア会議にはお母様も毎回参加していただき、みんなで本人のもっている力を共有したり、支援方法を考えたりしています。

●参加者：…家族、学校、放課後等DS事業所

2か所、ヘルパー事業所2か所、一時預かり

事業所、児童相談所、市役所、相談支援事業所

●内容：…主な検討内容

第1回「現在の本人の様子についての共有」他

第2回「本人の行動の理由は？」他

第3回「本人が自分の想いを伝えたり、相手の

話を理解するために」他

第4回「待ち時間の過ごし方」他

●今回は、実際にケア会議に参加いただいたご家族に感想を伺ってみました！

「ケア会議を行うために学校から放課後支援先まで御多用の中、大勢の皆さんに集まっていたく事が申し訳ない上に不安でもありました。

ですがケア会議を重ねる毎に、問題を共有し連携を取る事で想像以上に本人が安定した生活を送れている今、このような機会を設けて下さった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

この会議が他の方のお役に立てる事があれば、また更に嬉しく思います。」

これからも、チームで色々なことを学びながら、ご本人とご家族が望む生活をするためのお手伝いをしていきたいです。H様、ご協力ありがとうございました。

□相談支援専門員が増えました！

11月から、相談室に相談員が増えることになりました。意気込みを一言。

「みなさまのお力をお借りしながら、頑張りたいと思います。」



よろしく願います。」

大淵

□結婚おめでとう♪

はぐ・いっぽくクラス担当の

辻井職員の結婚報告です☆



『9月に入籍し、姓が大田(おおた)になりました。これまでと変わらず「辻井さん」と呼んでいただいても構いません。新生活は慣れないことも多いですが、自分らしさを大切に仕事&家事を頑張ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひ致します！』



◆◇ヘルパー部署◆◇

皆さん、こんにちは。今月は、ヘルパー部
署職員 水谷が担当することになりました。
今回は、「アンパンマンマーチと自分の仕
事」という内容で書かせて頂こうと思いま
す。

アンパンマンマーチというのは、アンパンマ
ンのオープニングテーマになっている曲です。

この曲は、やなせたかし氏(アンパンマン
の生みの親)が作詞を手掛けています。ち
なみに、テレビや本などで見たことがある
方もいるかもしれませんが、この詞は、戦
争中に特攻隊を志願した弟に向けられてい
るのでは、というような説があります。自
分もなにかで見えて知ったのですが、今回は
その内容ではなく、歌詞の一部分について、
自分がサービスに入る時に心がけるようにな
ったフレーズを紹介したいと思います。

そのフレーズは、

♪なにが君のしあわせ、なにをしてよ
こぶ、わからないままおわる、そんなのはい
やだ！♪

このフレーズを意識し始めてからは、いろ
いろな状況で相手の気持ちを理解したいと
いう事を今まで以上に思うようになりま
した。

利用者との関わりについては、相手の気

持ちを想像して対応をするようにしてい
ますが、本当の気持ちは本人しか分からな
いと思います。

ガイドヘルパーの仕事は皆さんもご存知
の様にサービス日時、時間が決まってい
限られた時間を利用者と一緒に過ごす
いうものです。なので、その限られた時間
の中で少しでも本人の事を分かることがで
きれば良いな、と思うようになりました。
そう心がけていても、なかなか人の気持ち
を理解する事はたやすく無い事も承知し
ながらサービスに入っています。

幸せや喜びなどは人それぞれ価値観が
違うため、自分の思っているものと相違が
あると思います。なので、いつもと同じ遊
び、私にとっては魅力の無い物を大事にし
ている事などについても、利用者にとっては
どのように感じているのかを、表情・発語・
動きなどを読み取り想像を働かせながら
相手の気持ちを理解しようと努力をして
います。そして、1回1回のサービスを大事
しながらこれからも励んでいこうと思いま
す。今この記事を書くことにより、自分に
プレッシャーがのしかかったような気もし
ますが…。

ちなみに、先程Yahooニュースを見たところ、
やなせたかし氏の訃報を見て、とても
残念に思いました。お悔み申し上げます。

ガイドヘルパー募集

サービスセンターぱるでは、知的障害児・者の地域生活をサポートするヘルパーを募集しています。

活動内容：一人で外出することが難しいハンディを持った方の余暇をサポートします。

活動時間：平日の午後～夜、土日の日中5～6時間など。

※月に一回だけ、長期休み・土日のための活動でも可！

活動場所：藤沢市、鎌倉市など…

募集要項：○「介護福祉士」「ヘルパー2級」もしくは「知的障害児者ガイドヘルパー講習修了者」

○18歳以上(応相談)

○こども、運動が好き。遊ぶのが好き。誠実で優しい。相手の価値観を尊重できる。

↑こんな方を募集しています！

待遇：○時給1,080円(行動援護のみ1,180円)

○交通費 実費支給(1サービスにつき、1,500円まで)

連絡先：サービスセンターぱる 0466-28-0909 担当：妹尾、粕山まで

お待ちしております♪



徳竹(臨床心理士)が
お送りします！

特集 「待つ支援」

“待つ支援”と聞いて、みなさんどんなことを感じますか？そしてお子さん、利用者さんを“待つこと”はできていますか？

はぐでは、待つ支援を「相手を知る、相手の可能性を信じる」ことと考えています。

今回は、はぐで月一回行なっている「はぐサロン(親サロン)」でのエピソードを紹介しながら“待つ”ことの意味やポイントを考えてみようと思います。

～はぐサロンより～

はぐサロンの時間の、とても印象に残っている言葉があります。

それは「本人にとってみたら100点なんです。」という、お母様方の言葉です。運動会で、本人の姿を見て感じたそうです。他の子と比較したら苦手な事も多いけれど、1年前、2年前と比べると本人の成長を心から感じ、とても嬉しかったというお話でした。

周囲と比較したら、もしかしたら50点だったのかもしれませんが。それでも、今の本人を、また本人がそれまで頑張ってきた姿を認めることができたから、「その子にとって100点」と思い、心から喜べたのではないのでしょうか。そして、これからの本人の成長を信じているからこそ、発することができた言葉なのだと感じました。

もちろん揺れ動きはあると思いますが、本人なりのペースでの成長を「待つ」ことができている、お母様たちの素晴らしい力なのだと思います。

このお母様たちの言葉から、「待つ」ということは、その場で待つことだけではなく、本人の今を受け止め、これからの未来や成長を信じることだということ学びました。(山下)



私たち職員にも、待った・待たされたと感じた経験はあります。“待つ”ことは基本的には面倒で大変なものだと思います。なぜなら、待っていても、こちらの期待はよく外れてしまいますし、思った通りに相手は動いてくれないからです。

きっと、はぐサロンでのお母様たちも「100点なんです」という一言に至るまで、そうした親として思い通りにならないときのプロセスも歩んでこられたんだと想像します。お母様たちがお子さんの未来や成長を信じてこれたのは、この“待つ”という経験を重ねてこられたからではないのでしょうか。この「待つ」すなわち「相手を知り、相手の可能性を信じること」に、どのようなことが“近道”になってくれるのでしょうか？心理学では、①相手との「違い」は「間違い」ではないことを知ること、②相手のプラスの面を探すが、「待つ」ことへの一つの近道になると考えられています。どのようなことでしょうか？

①相手との「違い」は「間違い」ではないことを知る

右の図を見てください。最初にみなさんは何が見えますか。

“壺”に見えますか？

“二人の人が顔を合わせている姿”と見えますか？

それともそれ以外のものが見えますか？



～相手を知る、相手の可能性を信じる～



同じ図を見ているのに、他の人に説明したり、わかちあってみると、見える図の順番や見方に違ったものがあることに気がきます。もしかしたらそれは、待っている相手も、その場面を私たちとは違った視点で見えているのかもしれない。

どんな見え方をしているか、たとえそれが私たちと違って、その違いは当たり前であることを知っていると、相手に好奇心をもったり、もっと知ろうとすることができるでしょう。

②相手のプラスの面を探す

相手を知ろうとすると、相手のマイナスの面ばかりが見え心配になり、相手の可能性も信じられなくなることはありませんか。そこで、マイナスの面にあるプラスの面を探していこうと考えを変えてみることをおすすめします。たとえば、「今日は、落ち着いてなかったけど、興味持って遊べたね。」「なかなか動かなかったけど、じっくり考えて行動していたんだね。」など。また、今回のエピソードにもあるように、「(周りからみれば)50点だったけど、本人にとっては100点なんだ」ということも。そして、今はできていないことでも「できるようになったらいいね」と、できなかったこともプラスに考えていくと、相手の可能性を信じることへの近道になるでしょう。

もしみなさんが“待つ”場面に立ったとき上記のことを、自分の心へ働きかけてみると、“待つ、相手を知り、相手の可能性を信じる”ことのできる自分へと、変わることができるかもしれません。“待てない”ことを思って、大きく自分を変えようとしなくても大丈夫です。いまのみなさんで、ほんの少しだけ一緒に変わってみませんか？相手がどんな見え方をしているのか、自分が相手だったらどう見えるのか、心で思い巡りをするだけで、何かが変わるのだと思います。

最後にある利用者さんが支援をしている方にむけて書いた詩を書き記してみます(みなさんがお世話を受ける立場だったらどう思いますか？)。皆さんの子育てや支援がより充実したものになりますように。

(担当:徳竹/臨床心理士)

comfortable ways ～心地よい方法～

世話にん
世話人さんへ

わたしはユニークな人間。私のような人は2人といない。

私のことを理解できるようにメモを取ってください。

時として私の世話をするのは容易ではない。

でもあなたは一生懸命やったださるでしょう。

私もあなたに感謝ができるようになるでしょう。

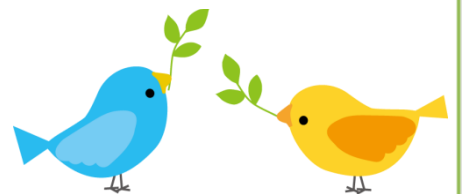
私のやり方に慣れるには時間がかかると思う。

みんな、それぞれ慣れた心地よい方法がある。あなたに私の方法を教えましょう。

わからなかったら聴いて。

本当に一緒に協力できたとき、正しい道を歩んできたことがわかるから。

一緒にこの道を歩きましょう。



▼グループホーム部署

今月はグループホーム見学について紹介したいと思います。

現在、藤沢育成会では10ヶ所のグループホームを運営しています。グループホームは皆様も御承知と思いますが、共同生活援助（グループホーム）、共同生活介護（ケアホーム）の二つの事業を指して、ほとんどの方は区別なく『グループホーム』と呼んでいます。

また、だいたいのホームは地域の中に在り、一戸建て、集合住宅を間借りするなどして生活を営んでいます。

グループホームは個々人のプライベート空間となっておりますが、「グループホームってどんな所?」「将来、グループホームで生活したいけど、一度見学してみたい!」「生活している人はどんな様子だろう?」など、分からないから『見学してみたい!』といった問い合わせをいただく事があり、将来ホームの利用を考えている利用者さんやそのご家族、支援学校の先生、入所施設の職員の方などが見学に来られます。

皆さんからの質問の多くは、食事、利用料、男女比、年齢層、バリアフリーはどうなっているのかなどなど。食事は、皆さん一緒の時間に召し上がるホームもあれば、帰宅時間が異なることでバラバラに召し上がるホームもあります。外食をする時は、生活しているホームの世話人さんに伝えて頂ければ大丈夫です。年齢層は20代〜80代の方まで幅広い方が住まわれています。

グループホームは、「一体どんなところなんだろう?」とイメージしにくい場所のようですが、実際にご覧になった方は「こういうところなんだあ!」と、帰られる頃にはちよっとスッキリした顔をしていらつしやいます。

是非興味のある方は見学にいらして下さい。



☆ご寄付ありがとうございました! ☆

登録ヘルパーさんや、移動支援ご利用のご家族よりおもちゃや絵本、DVDデッキ等のご寄付をいただきました。デイサービス・ヘルパーの活動で活用させていただきます。

また、以前、放課後等デイサービスを利用されていた方のご家庭よりタンスを頂きました。早速使わせていただいています。さらにホーム利用されている方のご家族より折り畳みベッド、ホーム入居者より本を頂きました。



ありがとう



職員投稿

～このコーナーでは、スタッフが順番に自由なテーマで語ります～



子ども支援部署の小野田です。

ぱるに9年います☆もつと長い職員がいるのでまだ

まだな職員です(笑)

初めての職員投稿。テーマは僕の朝です。

6時30分の目覚ましの前に起きている娘さんが身体に

のつかるといふ方法で起こしてくれます☀

少しのんびりしてから、身支度して洗濯物を干します。

7時15分からのBSで放映している朝ドラを2本見

ながら、朝食です。

娘さんの着替えを手伝い、髪を整えます。

幼稚園バスまで見送ります。

他の子のお父さんが現れるのはほとんど皆無…。

そりやそつですけどね。

でも夜は遅くなる仕事のため、あまり遊べないぶん、

朝は楽しいひと時となっております。そして出勤してお

ります！

東京オリオンピックの時には5年生です。下の娘は2年

生かな。そのころはまた違った朝なんだろうなあ、。

今を楽しんで……！

☆先日、角膜屈折矯正手術を受けてメガネなしに

なった小野田でした♪



おでかけMii情報

小田原「子どもの森」わんぱくらんど

今回、「ご紹介する【わんぱくらんど】の

広い園内には、魅力的な大型遊具(木登

リネット)、「ローラー滑り台」「ターザン

ロープ」、思い切り体を動かせるアスレ

チックなど)をはじめ、動物と触れ合え

る(ふれあい広場)、園内を走る(ロー

ドトレイン)子ども列車に乗れるな

ど様々な楽しみ方ができます☆

また、隣接する施設に植物公園もあり

ます。お弁当を持ってピクニックはもちろ

ん!豊かな自然の中でリラククス☆した

い大人の休日にもいかがでしょうか。

公園案内

開園時間：9時～16時30分

入園料：無料(駐車場は500円)

休園日：月曜日(祝祭日除く)

アクセス

電車：JR小田原駅西口より、バスで約10分

お車：小田原厚木道路 荻窪インターより約5分

※詳細はホームページをご覧ください。



スタッフが家族
で出かけた際に
撮りました☆



所長の小部屋



「暑さも過ぎ、だいぶしのぎやすくなりました」の挨拶をする暇もなく、めつきり寒くなってきた今日この頃いかがお過ごしでしょうか？

私は毎週のように訪れる季節外れの台風のさなか10月に名古屋で行われた防災・危機管理講習会に参加してきました。

内容は東日本大震災における被災からの取り組みについてでしたが胸を締めつけられる思いで被災地の方々の話を聞いてきました。その中で、とても印象に残っているエピソードをご紹介します。

復興の過程で被災者でもある職員の心の中には、心身の疲労も含め、さまざまな葛藤があったようです。そんな時、理事長の「新しいものをつかむためには、今握っているものを離さないとかめないんだ！ 困うな！ 必要な所へ必要なものを渡せ！」という一言で迷いが消え、当事者も、職員も、その支援者もひとつになれた気がしたそうです。そこからは「地域に支えられ20年、今こそ恩返しをするとき」を合言葉に取り組んだということでした。

私自身、そのような境遇になった時どのような感情になるのか想像もつきませんが、被災地の方々の想いをできるだけ肌で感じられる機会に触れるようにし、準備を怠らないようにしなければと改めて感じ帰ってきました。



おねがいします

ご家庭で不要になったジュニアシートがございましたら、譲っていただけますと幸いです☆

ちなみに、写真(矢印)のように、太ももを覆うインパクトシールドがあるタイプのジュニアシートを募集します☆☆☆譲ってくださいの方がいらっしやいましたら、サービスセンターぱるにご連絡いただくか、お近くのスタッフまでお知らせください。ご協力お願いいたします。



《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909
 藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959

【バスをご利用の場合】

＜行きかた1＞

藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』
 『小塚』停留所から徒歩2分になります。

＜行きかた2＞

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』（教養センター行きは×）に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分

